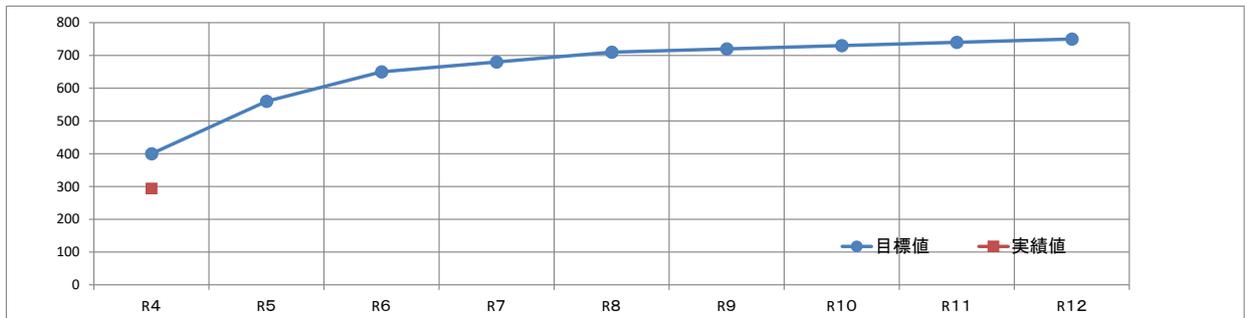


【指標の評価方法】 A:100%以上 B:99~80% C:79~70% D:69%以下

施策1 人生100年時代を生きる学びの推進

1 市町村生涯学習講座受講者数(人口千人当たり)

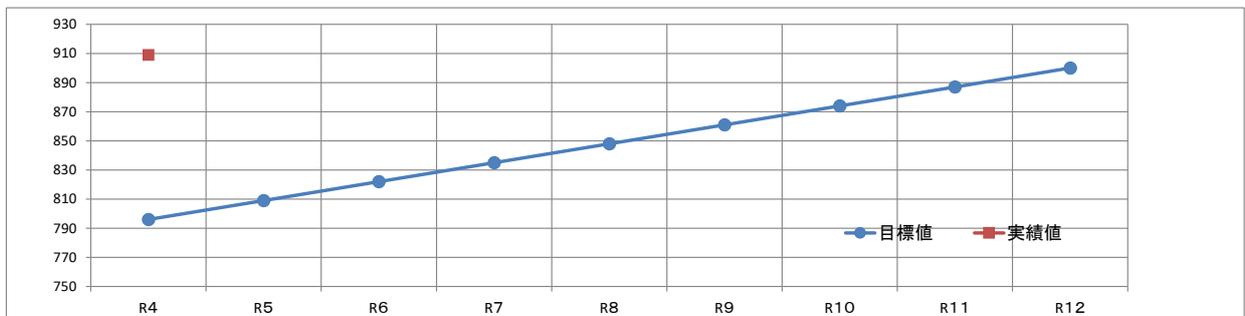
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	400	560	650	680	710	720	730	740	750	
実績値	294									
達成率	74%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



令和2年度と令和3年度の比較	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、コロナ禍の中でも、人数を限定しながらも講座を再開してきたことから、講座受講者がコロナ禍前にもどりつつあるものの、市町村の講座企画がマンネリ化の傾向にあり、新規の受講者の確保が鈍化していると思われる。 今年度は、市町村訪問やニュースレター発行をとおして、企画の参考になる県内の事例を紹介した。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 市町村訪問や優良事例の積極的な共有により、市町村の連携と企画力の向上を図る。 各団体との連携により、県民への情報提供の強化を図る。 講師情報や、若者・働き世代の受講者に向けた情報発信及び市町村担当者の企画支援のための生涯学習プラットフォーム構築を推進する。

2 福島県次世代育成支援企業認証数

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	796	809	822	835	848	861	874	887	900	
実績値	909									
達成率	114%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

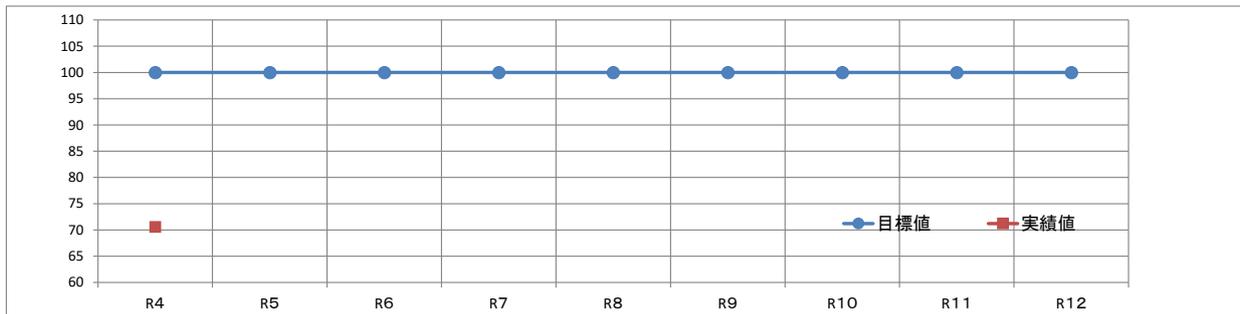


達成見込み・要因	<ul style="list-style-type: none"> 入札時の加点メリットを背景とした建設事業者の申請が増えている。 育児・介護休業法の改正により男性向けの新たな育児休業制度が制定されるなど、社会全体として仕事と育児の両立しやすい環境づくりの意識が高まっており目標値を上回った。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問等による取得要請活動を強化して認証企業を増やしていく。 働き方改革や女性活躍に係る各種セミナー等における周知の徹底。

3 個別の教育支援計画の引継ぎ率

(%)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	100	100	100	100	100	100	100	100	100	-
実績値	70.6 R3実績									
達成率	71%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

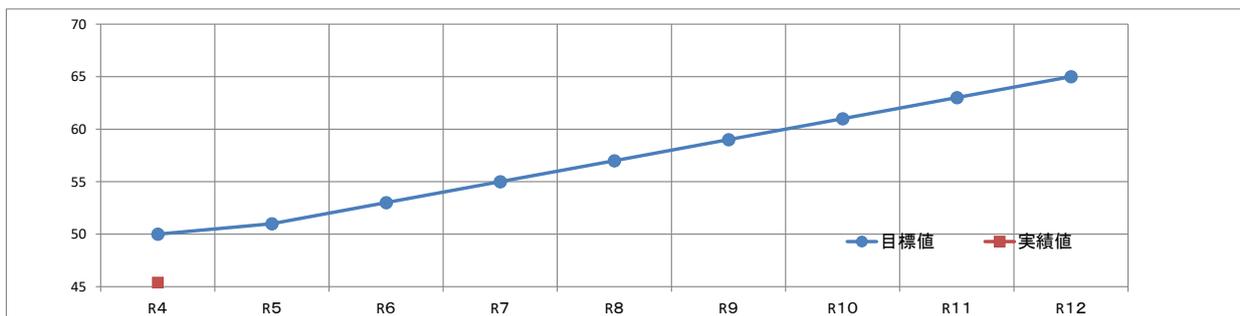


令和2年度と令和3年度の比較	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導においては、ほぼ確実に引継ぎを行ったが、通常の学級では、本人及び保護者との合意形成が得られず、作成及び引継ぎ時における活用が難しい場合があり、前年度からほぼ横ばいで推移している。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 各種会議において、市町村教育委員会や各学校へ、個別の教育支援計画の作成が必要な全ての幼児児童生徒への作成及び引継ぎ時における活用について周知する。 「個別の教育支援計画の作成及び活用」や「本人及び保護者への相談スキルの向上」に関する研修会を実施する。教員が本人及び保護者との合意形成の仕方について理解し、個別の教育支援計画の作成及び引継ぎ時における活用を図ることができるようにする。

4 成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率

(%)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	50	51	53	55	57	59	61	63	65	B
実績値	45.4 県政世論調査									
達成率	91%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

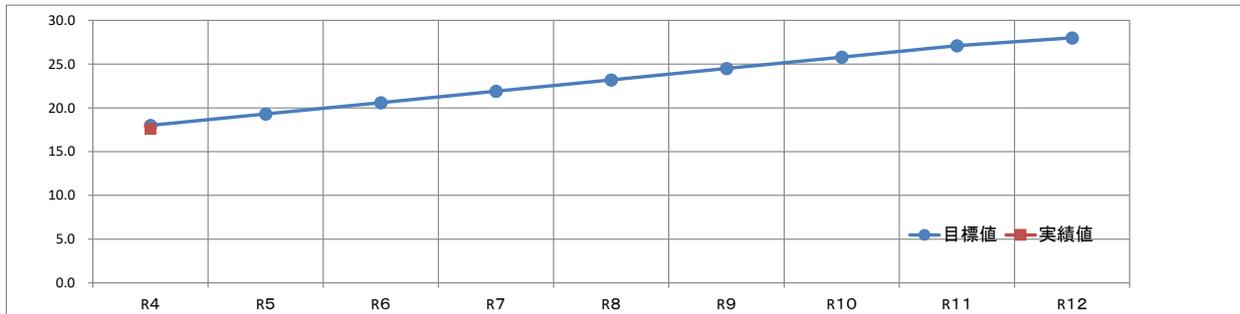


達成見込み・要因	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症への知見が徐々に増し、コロナ禍で中止となっていた大会や教室などのスポーツ行事が、感染症対策も進んだことで再開するとともに、コロナ禍においても様々なライフステージに応じたスポーツ機会が提供され、参加できる状況になってきたことが運動・スポーツ実施率の向上につながり目標値を概ね達成することができた。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、各関係団体と連携し、スポーツイベントや体験教室を開催するなど、様々なライフステージにおけるスポーツ機会の提供を行っていく。 運動・スポーツへの無関心層や実践時間が確保できない働き世代等に対し、ホームページなどを活用して、運動・スポーツ意欲を喚起する情報発信に取り組む。

施策2 地域づくりにつながる学びの推進

5 住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していると回答した県民の割合(意識調査) (%)

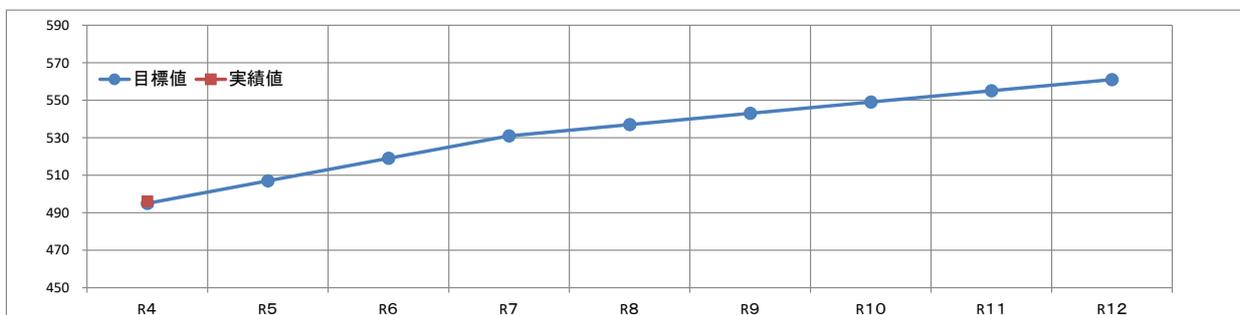
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	18.0	19.3	20.6	21.9	23.2	24.5	25.8	27.1	28.0	
実績値	17.6									
達成率	98%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



達成見込み ・要因	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代や新しく転入してこられた方の地域参加を促す取組や住民に地域の課題に関心を持ってもらうよう、公民館においても取組を進めているなど、少しずつではあるが住民の地域活動への関心が上昇し、目標値に近づけたと考える。 ・公民館等の市町村講座に新規受講者をどう呼び込むかが課題となっている。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域のことを知ってもらうため、住民に対し地域活動等の生涯学習情報を積極的に発信できる仕組みづくりを推進する。 ・地域づくりへの自発的な参加を促すことができるよう、市町村が主催する講座から住民主催の講座やサークルへつなげていくため、担当者を対象とした研修会等で講座の企画や運営の支援をしていく。

6 NPOやボランティアと県内自治体等との協働事業件数 (件)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	495	507	519	531	537	543	549	555	561	
実績値	496									
達成率	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



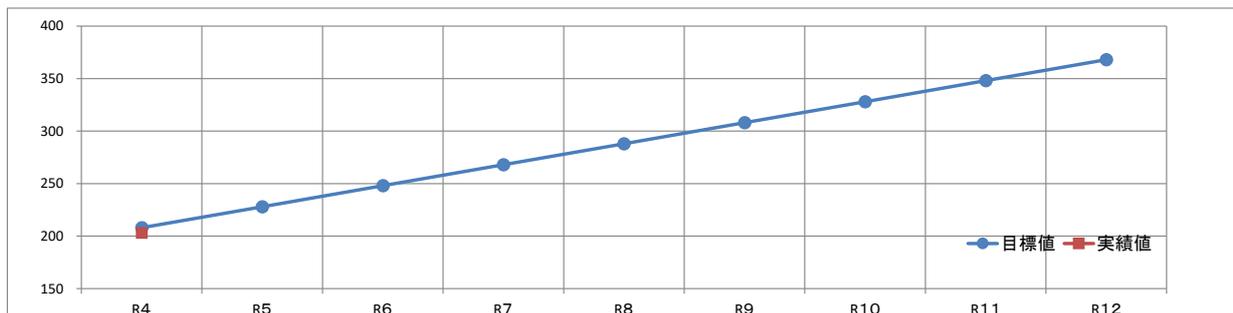
令和2年度と 令和3年度の 比較	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の横ばい傾向から新型コロナウイルス感染症の拡大により大きく減少となっていたが、感染拡大防止対策の徹底とオンラインの活用等により、令和3年度は前年度比で増加している。 ・県内4地区でNPOと企業等のマッチング事業を行い、多様化・複雑化する地域課題の解決に寄与する事業の創出を図った。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、NPO等と企業とのマッチング事業、きずな交流会参加者のフォローアップ、新規参加団体の開拓を行う。 ・優良取組事例の広報啓発を行い、本県の復興等に向けた協働事業の創出の促進に取り組む。

7 ふるさとの祭り参加民俗芸能団体数(累計)

(件)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	208	228	248	268	288	308	328	348	368	
実績値	203									
達成率	98%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

B

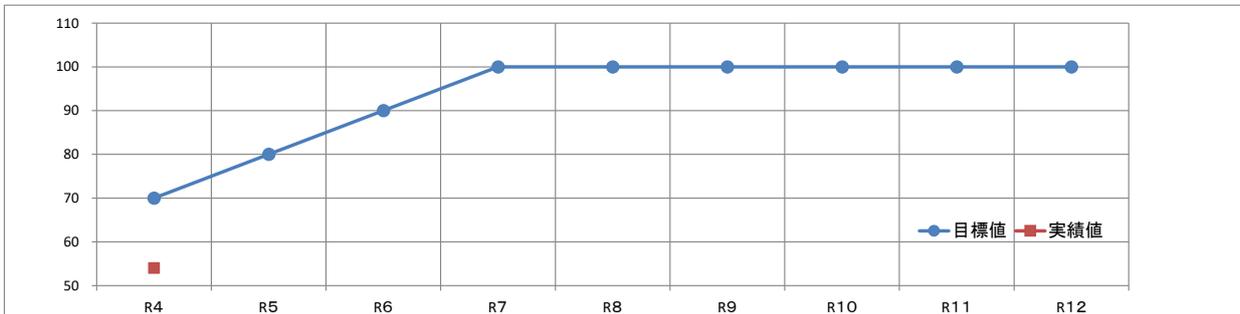


達成見込み ・要因	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足等の課題を抱える団体に対して専門家を派遣し助言指導の支援などを行う「民俗芸能復興サポート事業」と一体的に、民俗芸能の継承・活動再開に向けた支援として、活動成果の発表機会となる「ふるさとの祭り」を開催している。令和4年度は他行事の影響で予定団体数は確保できなかったが、目標値を概ね達成できた。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・県内各地で開催される各種イベントにおいて、民俗芸能をより多くの県民に知ってもらう機会、芸能を披露する機会を確保する観点から、「ふくしまの祭り」として参加できるよう調整を進めていく。 ・担い手の確保のため、移住者、定住者や県内外の大学生などが、民俗芸能団体との連携や活動の協力をしていく関係づくりに取り組んでいく。

施策3 東日本大震災及び原子力災害の記憶と教訓の伝承

8 語り部や風評払拭、風化防止に関連する探究活動を実施した県内県立高校の割合 (%)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	70	80	90	100	100	100	100	100	100	
実績値	54.0 12/31									
達成率	77%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



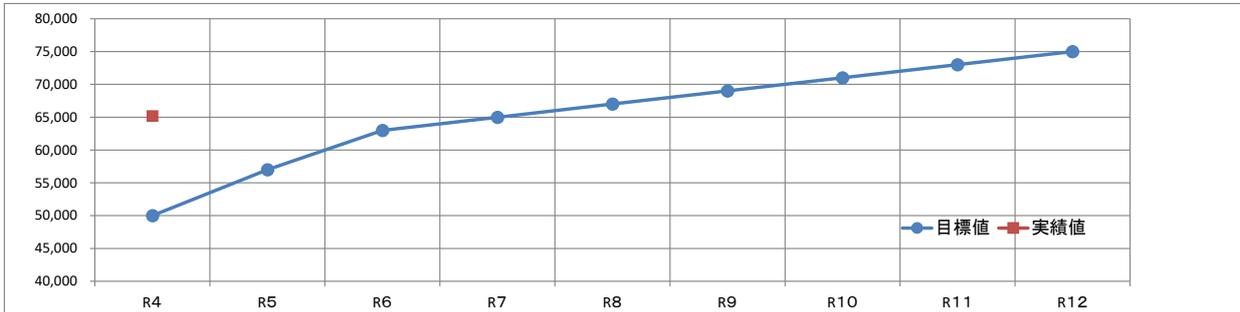
達成見込み ・要因	<ul style="list-style-type: none"> 実践校と伝承館研修校を指定し、語り部や風評払拭、風化防止に関連する探究活動を推進するとともに、震災の継承については第7次福島県総合教育計画に位置付け、各高校における意識の高まりと活動経験の積み重ねによって活動の定着が図られてきているなどから、目標値の達成が見込まれる。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 各高校における活動内容の継承が最大の課題であり、生徒個々の活動内容を記録・保存するとともに、授業や課外においても後輩に引き継いでいく体制を構築する。 実践校、伝承館研修校以外の学校の取組を支援することで、「震災の経験と教訓」「福島の魅力」「正しい福島の情報」を自ら語る事が出来るようにする。

9 東日本大震災・原子力災害伝承館

(1) 来館者数

(人)

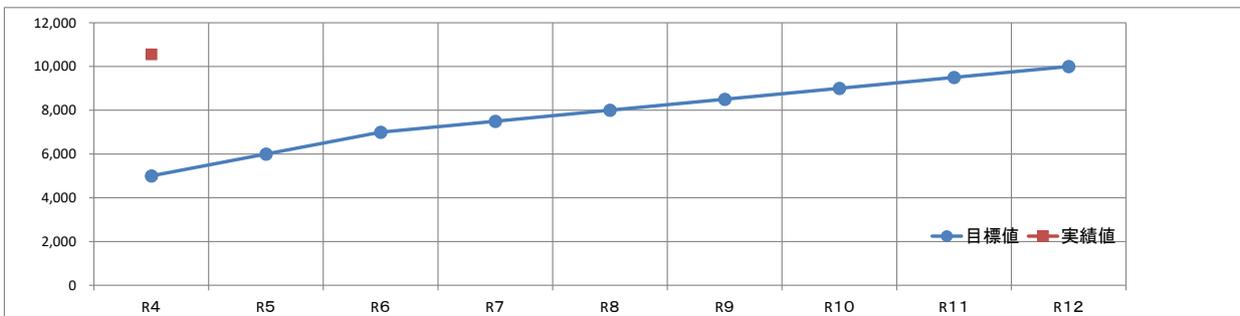
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	50,000	57,000	63,000	65,000	67,000	69,000	71,000	73,000	75,000	A
実績値	65,179 12/31									
達成率	130%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



(2) 研修参加者数

(人)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	5,000	6,000	7,000	7,500	8,000	8,500	9,000	9,500	10,000	A
実績値	10,562 12/31									
達成率	211%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



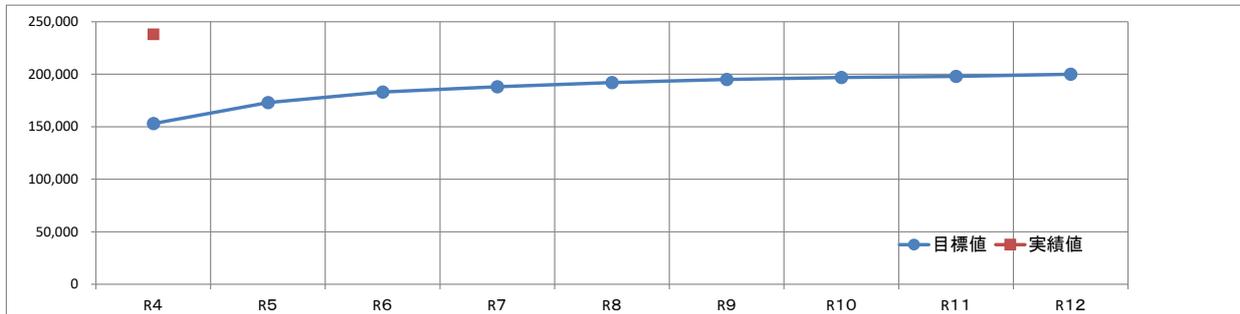
達成見込み ・要因	<p>・被災地域の復興のあゆみ・魅力を発信するため、県内外に広報を行い、浜通りの13施設と連携した風評の払拭につながるイベントや県外展示を実施した。</p> <p>・小・中・高等学校等の震災関連学習活動に対するバス料金補助による教育旅行の定着や震災災遺構浪江町立請戸小学校との共通割引券の導入によるサービス向上、常任研究員による専門講座の本格開催による館の学びの魅力の向上などにより、県内外からの利用者増加に努めてきたことで目標値を上回った。</p>
今後の取組	<p>・館としての学びの魅力を維持・向上させていくため、計画的な展示内容の更新や企画展の開催、研究事業の成果を踏まえた研修プログラムの充実させていく。</p> <p>・帰還や新たな拠点整備等新しい局面を迎える被災自治体の状況を踏まえながら、被災地域全体で、震災の教訓や復興する地域の姿、魅力を発信していく。</p>

施策4 社会の変化に対応した学びやすい環境づくりの推進

10 県民カレッジ受講者数

(人)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	153,000	173,000	183,000	188,000	192,000	195,000	197,000	198,000	200,000	-
実績値	238,076									
達成率	156%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

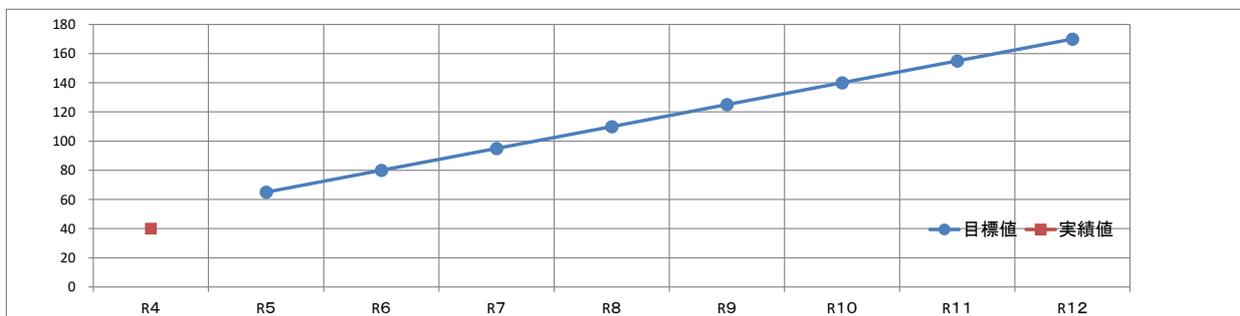


令和2年度と令和3年度の比較	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、コロナ禍により開催を中止してきた大規模なイベント等が開催できるようになり、令和2年度に比べ受講者の増につながった。 ・規模の小さい町村においても市町村をまたいだ講座が少しずつ開催できるようになり、人と人とのつながりを求めて受講を再開する人が増えている。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村訪問をとおして、他市町村の事例や講師情報を共有するとともに、同様の講座は近隣の市町村との連携により効率的に運営できるように支援する。 ・講座やイベント、講師等の情報や生涯学習動画など、生涯学習に関する情報、コンテンツを集約・発信するプラットフォームの構築を推進する。

11 オンラインを活用した生涯学習講座数

(件)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値		65	80	95	110	125	140	155	170	-
実績値	40									
達成率		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

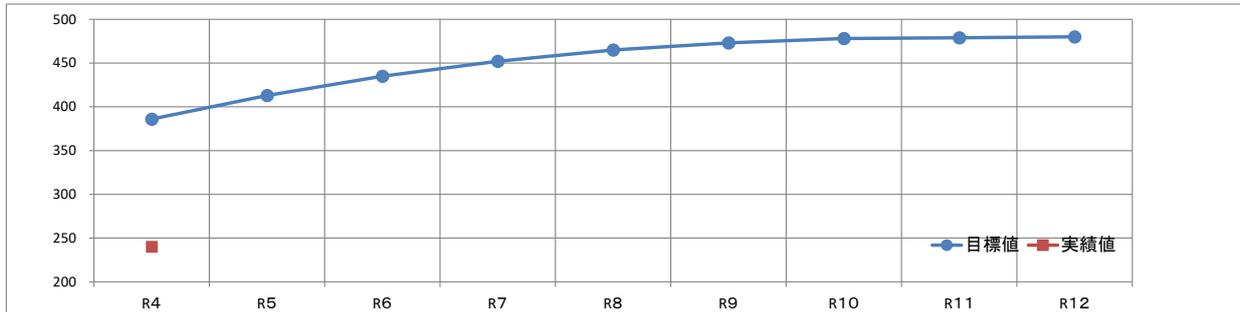


今年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン学習の普及に合わせ、デジタルデバイドの解消のため、ICTスキル講座を開催し、前回の受講者が講師になる工夫も見られた。 ・施設や設備、スキルに差があり、オンライン講座の企画ができていない市町村が多い。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村訪問をとおして、現状や課題について把握し、市町村連携のマッチングを行い、オンライン活用を促進する。 ・生涯学習情報システムを活用し、県施設作成の動画配信を供与することで、市町村のオンライン活用を支援する。

12 学んだことをいかす機会が講座内に組み込まれている市町村生涯学習講座数

(件)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	386	413	435	452	465	473	478	479	480	-
実績値 R3実績	240									
達成率	62%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



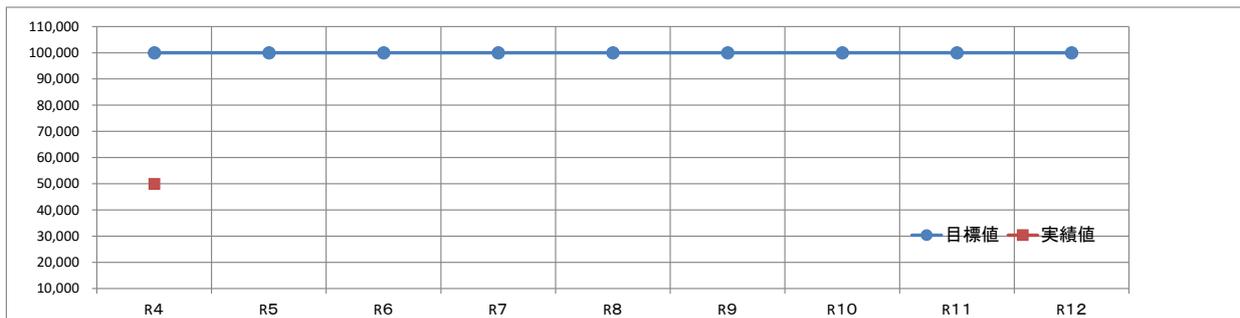
令和2年度と 令和3年度の 比較	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、講座が再開されても、コロナ禍の対応を考慮して発表の場を設定する講座が少なかったことから減少につながった。 ・オンラインを活用したものには、講義的な講座が多く、作品を作って見せ合ったり、ダンスや踊りを発表したりする場の提供につながらなかった。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習情報システムの中で、学んだ成果を発表できる機会の情報提供もできるようコンテンツを工夫し分かりやすい情報発信に努める。 ・リアル・オンラインの双方で、地域住民がつながる「場」として生涯学習施設を活用した学び合いにつなげていけるよう、生涯学習情報システム構築を推進する。 ・県内の優良事例を取り上げたニュースレターを発行し、学んだことをいかす取組を照会していく。

13 県立美術館

(1) 入館者数

(人)

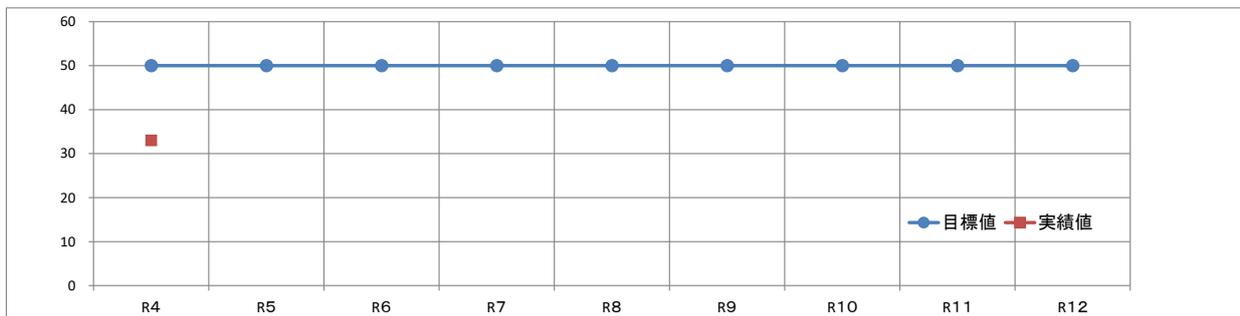
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価	
目標値	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000		D
実績値	49,925 12/31										
達成率	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		



(2) 講座数

(件)

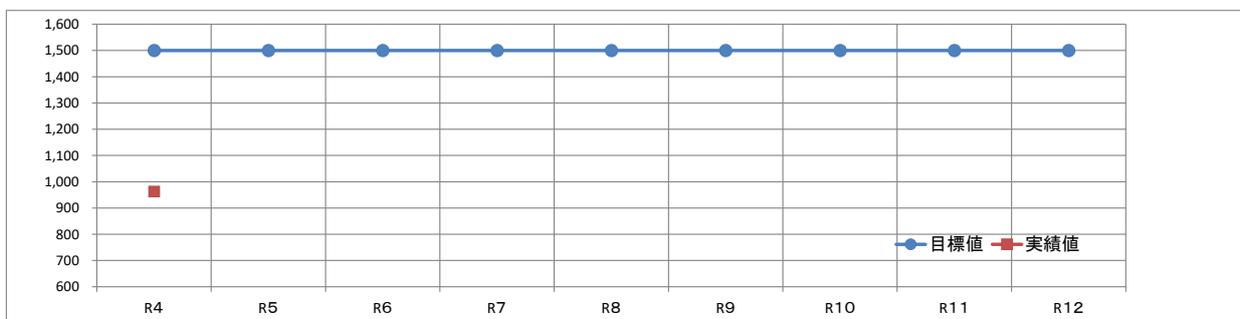
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価	
目標値	50	50	50	50	50	50	50	50	50		D
実績値	33 12/31										
達成率	66%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		



(3) 受講者数

(人)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価	
目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500		D
実績値	963 12/31										
達成率	64%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		



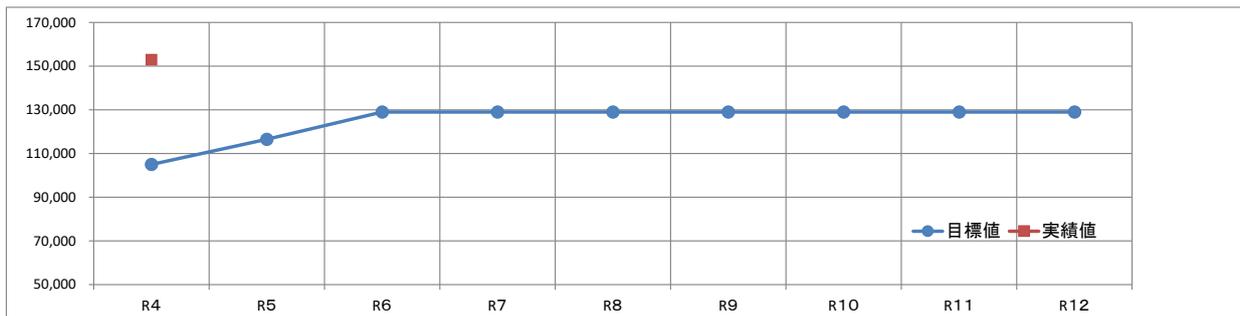
達成見込み ・要因	・「写真展 岩合光昭の世界ネコ歩き2 & どうぶつ家族」の企画展は好評であり、年度末にも大型企画展を開催予定としているが、これら以外の企画展は小規模で入館者が少なく、目標値の達成は困難な見込みである。
今後の取組	・魅力ある展示会を企画し、効果的な広報を実施することで集客に努めるとともに、学校等の団体観覧受入や教育普及講座の開催等により、県民の芸術文化への関心を高めていく。

14 県立博物館

(1) 入館者数

(人)

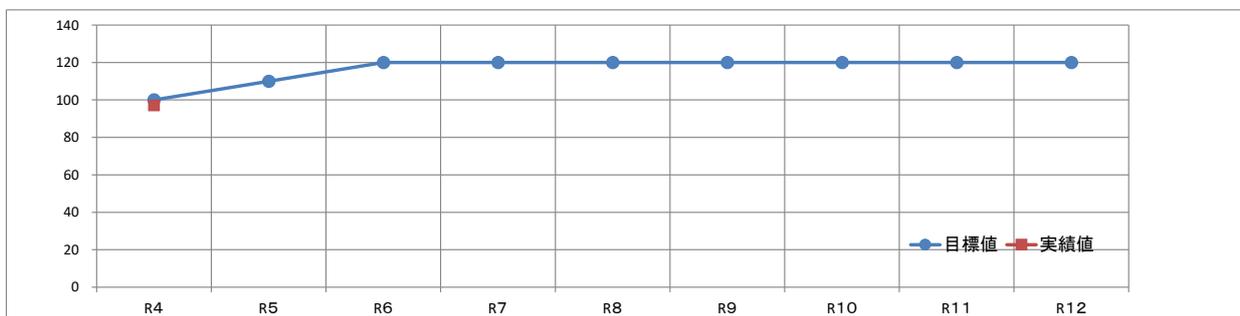
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	105,000	116,500	129,000	129,000	129,000	129,000	129,000	129,000	129,000	
実績値	152,918 12/31									
達成率	146%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



(2) 講座数

(件)

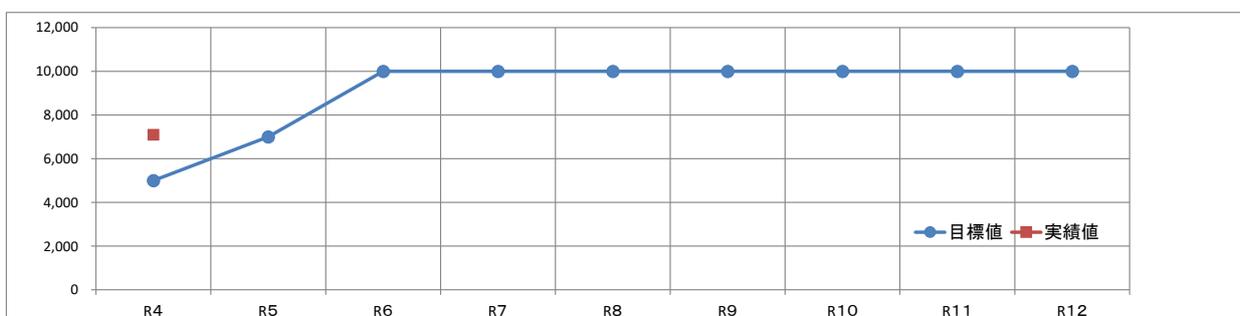
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	100	110	120	120	120	120	120	120	120	
実績値	97 12/31									
達成率	97%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



(3) 受講者数

(人)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	5,000	7,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
実績値	7,099 12/31									
達成率	142%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



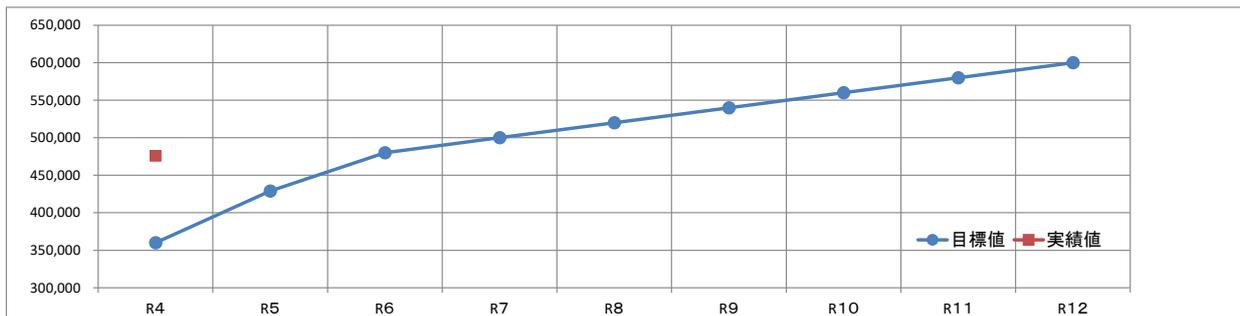
達成見込み ・要因	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの基本的な感染防止対策を継続しつつ、少しずつ人数制限等の条件を緩和しており、また、学校団体の教育旅行等の入館者数は元に戻りつつある。 ・令和4年度は実行委員会と連携した規模の大きな企画展を2つ開催でき、入館者数では前半で目標値を上回った。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・展示室のサイン表示・解説等の多言語化により、来館者の利便性向上と、インバウンド、外国語ユーザー増につなげる。 ・鶴ヶ城など周辺の観光施設との共通観覧券の導入とオリジナルグッズなどの販売のための条例、規則の改正、部門展示室(民俗)や展示ロビー、西レストコーナーの音声と映像整備、野外講座や講師派遣などの館外事業をより充実させることにより来館者増を目指す。

15 アクアマリンふくしま

(1) 入館者数

(人)

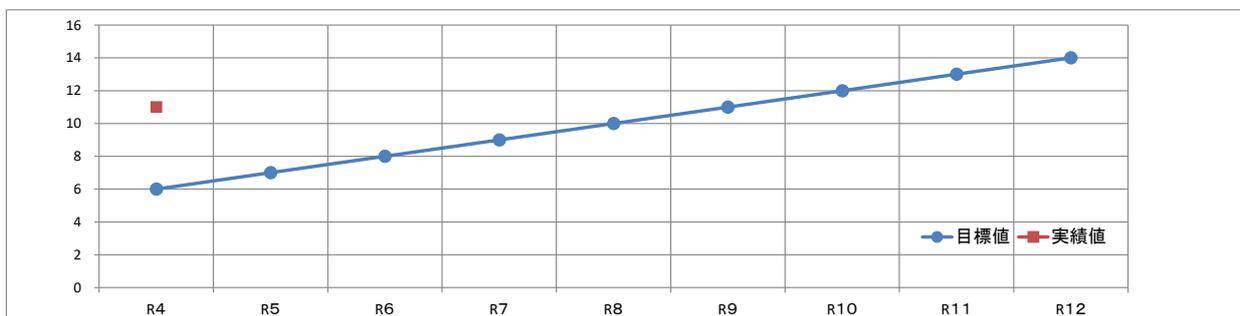
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	360,000	429,000	480,000	500,000	520,000	540,000	560,000	580,000	600,000	
実績値	475,817									
	12/31									
達成率	132%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	A



(2) 講座数

(件)

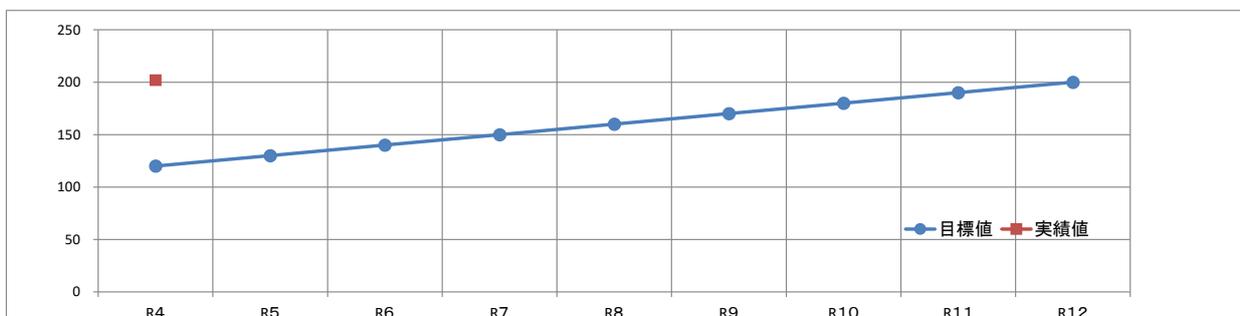
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
実績値	11									
	12/31									
達成率	183%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	A



(3) 受講者数

(人)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	120	130	140	150	160	170	180	190	200	
実績値	202									
	12/31									
達成率	168%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	A



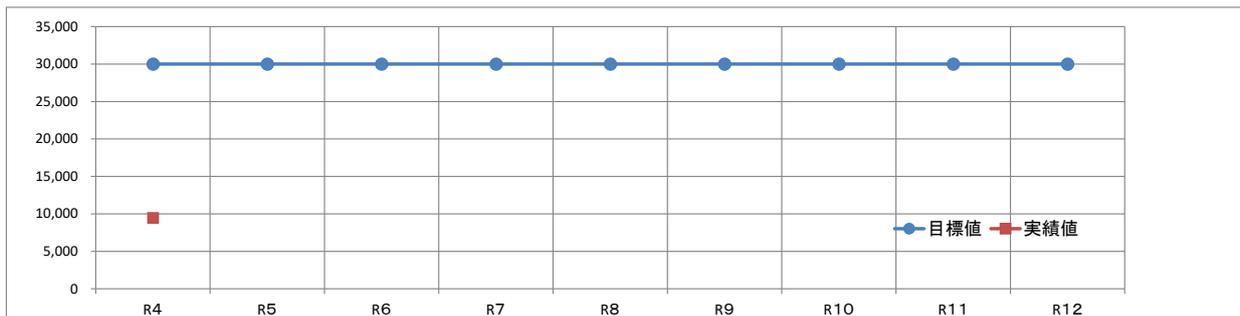
達成見込み ・要因	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣施設と連携した入館料割引やSNS等を利用した情報発信に努め周知を図った。 ・パショウカジキの世界最長飼育記録の更新やメヒカリの人口飼育個体から全国で初めて卵を発見するなどの研究の成果を上げることができたことと積極的な広報活動が利用者の増につながり目標値を上回った。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある企画開催事業を展開し、近隣施設と連携した情報発信に努める。 ・施設の経年劣化に対応した維持補修を行い、機能を適切に維持する。 ・講座開催の際の業務量が膨大なことから、R4年度から実施回数及び実施方法を見直し、質と継続性の向上を目指している。

16 県文化財センター白河館

(1)入館者数

(人)

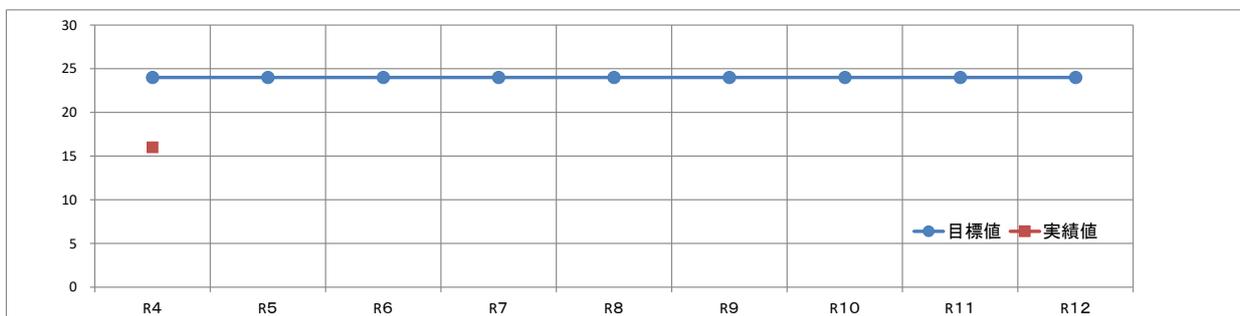
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価	
目標値	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000		D
実績値	9,456 12/31										
達成率	32%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		



(2)講座数

(件)

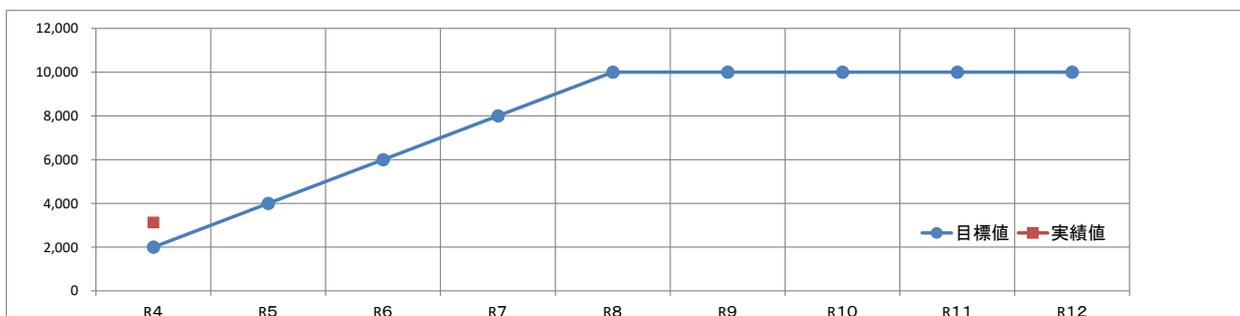
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価	
目標値	24	24	24	24	24	24	24	24	24		D
実績値	16 12/31										
達成率	67%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		



(3)体験者数

(人)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価	
目標値	2,000	4,000	6,000	8,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000		A
実績値	3,123 12/31										
達成率	156%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		



達成見込み ・要因	・県内外の学びの類似施設(福島市:じょーもぴあ宮畑、郡山市:大安場古墳)等が競合する環境になってきたことや学校におけるカリキュラムの増加(英語、情報等)等に伴い学校の利用が減少したことなどにより、入館者数が伸びず目標を下回る見込み。
今後の取組	・ホームページ、SNSを含む戦略的な情報発信や来館者ニーズの把握によるリピーターの確保、類似施設との差別化などを図りつつ、各種展示の充実と質の向上に努めていく。